



夢実現



2学期が始まって3週間ほど として



『運動会』に向けて頑張ってます!

応援 いっぱい お願いします。

- 夏休みが終わりしばらく経ちました。学期の始まりは、なかなか学校に気持ちに向かず、不登校や問題行動に発展する事例も多い中、本校ではほとんどの子どもたちが元気に学校生活を送っています。

『当たり前のことを当たり前』が、何よりうれしいですね。



- 「猛暑」「豪雨」「台風」等、地球はどこに向かうのでしょうか。自然災害やすべての事象が想定内となると恐ろしいです…。

- そんな中であっても、子どもたちは元気です。現在『運動会』に向けて練習の真っ最中。大人でも、得意、不得意の領域があります。運動・スポーツの分野も同様であります。 **「生涯においてスポーツ好きな人間を育てる」**という観点から学校体育の役割は大きいものがあります。苦手でも一生懸命に取り組む心と態度が大切であり、応援する側も感動を覚えます。

短距離走、リレー、リズム表現、応援合戦など朝から夕方まで練習する姿や大きな声が聞こえてきます。運動会当日は声をからして皆さんと一緒に応援しましょう。

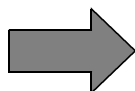


- 家庭では基本的な生活習慣の実践と確認（食事、睡眠、服装の洗濯等）を行い、背中をおしてください。

- 本校はここ数年、児童数が大幅に増加しています。昨年度までのプログラム内容や所要時間を分析し、種目の一部を削減しました。また、熱中症等の対応として水分補給の時間を一斉に設けました。「安心・安全」を最優先いたしますので御理解ください。

- 県内では、自然環境を考慮し、猛暑を避けた運動会を5・10・11月に実施する学校も増加。次年度は同時期に『かごしま国体や障害者スポーツ大会』も開催されます。本校は創立40周年を迎える節目の年になりますので、各関係団体や機関と調整を行い、今後10年先を見据えた運動会の開催時期と内容を検討していきたいと思っております。

※運動会スローガン



**あきらめず みんなで協力
めざせ優勝 チェスト 星西!**



【ちよつと一服】

宮沢 賢治

「雨にもまけず」から学ぶこと

そして

○ 上段は、御存知、作家 宮沢賢治さんの「雨にもまけず」の詩です。謙虚で自己犠牲の精神を持った人に憧れた理想像を綴ったものだといわれています。自分のことだけを考えるのではなく、人を思いやって生きていく素晴らしきは、現代社会では特に必要なことだと考えます。ついつい自分の欲に負けてしまう自分ですが・・・

下段は、宮沢賢治氏と同郷の医者が、ある学会で紹介した詩だそうです。痛烈で、皮肉めいたパロディーですが、子どもを育てる職に身を置く者として「ドキツ」とします。子育て真つ最中の皆さん方はいかがでしょう。

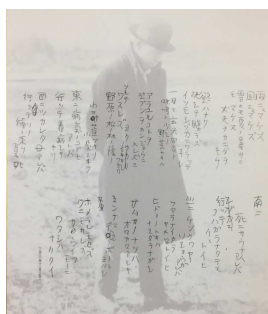
雨にもまけず 風にもまけず
雪にも夏の暑さにもまけぬ 丈夫なからだをもち
欲はなく 決して怒らず
いつもしずかにわらっている

一日に玄米四合と 味噌と少しの野菜をたべ
あらゆることをじぶんをかんじょうに入れず
よくみききしわかり そしてわすれず

野原の松の林の蔭の 小さな置ぶきの小屋にいて
東に病氣のこともあれば 行って看病してやり
西につかれた母あれば 行ってその稲の束を負い
南に死にそうなる人あれば 行ってこわがらなく
てもいいといひ
北にけんかやしょうがあれは
つまらないからやめるといい ひでりのときは
なみだをながし

寒さの夏はオロオロあるまじ
みんなにテクノポーとよばれ ほめられもせず
苦にもされず そういうものに わたしはないたい

雨にもあてず 風にもあてず
雪にも 夏の暑さにもあてず
ぶよぶよの体に たくさん着込み
意欲もなく 体力もなく いつも
ブツブツ不満を言っている



毎日の塾に追われ テレビに吸いつけて遊ばず
朝からあくびをし 集会があれば貧血を起こし
あらゆることを 自分のためだけ考えてかえりみず
作業はグズグズ注意散漫し すぐ飽き そしてすぐ忘れ
りっぱな家の 自分の部屋に閉じこもっている

東に病人あれば 医者が悪いと言ひ
西につかれた母あれば 養老院に行けと言ひ
南に死にそうなる人があれば 寿命だと言ひ
北にけんかや訴訟があれば 眺めてかかわらず

ひでりのときは 冷房をつけ
みんなに勉強勉強と言われ 叱られもせず 怖いも
のも知らず
こんな現代つ子にだれがした

◇ ある意味、現代の子ども像を反映しているようにも思えます。なにか、切なさを覚えます。下段のような子どもに絶対にしたくない。いやさせませんよね。みなさん!! 「鍛える」の真意を考えて見ましょう。